



謹んで新年のお慶びを申し上げます。

旧年中は格別のご厚情をたまわり、心より感謝申し上げます。

すばらしい新年を迎えることができたのも、皆様の日頃のご指導のおかげと喜んでおります。

振り返ると、昨年岐阜市では、教育の分野で、私の選挙公約でもありました、小中学校のエアコンが全教室で導入完了となったほか、岐阜市議会公明党として推進しておりました、乳幼児期から青年期までを一貫して支援する「子ども・若者総合支援センター」が開設され、青少年が暮らしやすい街、子育てしやすい街として、一歩充実した年でもありました。

また、本年は更なる教育環境の充実として、岐阜市中央図書館を核とした「ぎふメディアコスモス」のオープンが夏に控えています。最近では「図書館ビジネス」とも言われるこうした施設は、暮れの11月議会で可決された、岐阜市役所本庁舎の移転新築計画とともに、街の活性化対策としても期待がされているところであります。本年も教育・福祉の充実を目指し、議会活動を中心に、なお一層邁進してまいりますので、どうぞご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

平成27年 元旦



市役所の移転・新築が決定

岐阜市役所本庁舎の移転条例案が、昨年暮れの議会で可決され、現在の位置から400m北西の岐阜大学医学部跡地に新庁舎を建設することが正式に決まりました。

現在の市役所本庁舎は昭和41年に美江寺から移転。建設から50年近くが経過し、建物の老朽化により大規模地震発生時、密閉してあるアスベストの飛散など防災拠点としての機能性について懸念が持たれるほか、庁舎機能が市役所周辺の5つの建物に分散している点、バリアフリー対応の構造となっていない点、手狭でプライバシーの配慮に限界がある点などを理由に、岐阜市では建て替えのための検討をすすめていました。

岐阜市議会公明党としては、防災拠点機能の課題をより重視、財源も積立基金に加え、有利な合併特例債を活

用するなど市民にできる限り負担としないことを確認した上で、この条例案に賛成、可決されました。

市長が「百年の大計」と掲げた、この一大プロジェクト。

今後は利便性や機能性、さらには市内に7箇所ある出先事務所との役割分担を含め、将来にわたって岐阜市にふさわしい拠点となるよう、あらゆる観点から細かく議論を重ねていきたいと思っております。



新年度予算要望を提出



岐阜市議会公明党として、新年度の予算要望を細江岐阜市長に提出しました。

予算要望は岐阜市議会公明党5人の議員が、地域の皆さまとの懇談の中でいただいた意見、さらには各種業界・団体から受けた要望を「庶民の暮らしの向上」という観点から精査したものです。

FC岐阜街頭支援活動



元日本代表のラモス瑠偉さんを監督に迎え、市民の注目を俄然集めているFC岐阜。監督も近いうちに必ずJ1昇格を！と決意されています。しかし、J1に昇格には、その成績だけでなく、練習場やクラブハウスといった設備の充実が必要なことから、FC岐阜が主体となって「ぎぶJ1チャレンジ」署名・募金活動が行われ、私も「FC岐阜支援岐阜市議会議員連盟」の一員として、同僚の議員さんと一緒に協力をさせていただきました。

11月末時点で署名数が153,665人、募金金額では197万円余りが集まり、この結果、昨年暮れの議会で、岐阜市の北西部運動公園を拡張する形で、練習場とクラブハウス建設へ向けた検討がなされることが決定しました。

今年、防災、教育、福祉、経済、観光といった分野別に171項目を取りまとめました。とりわけ福祉については、進行する超高齢化社会をふまえ、公明党が国において進めている「地域包括ケアシステム」の導入を前提に、岐阜市において盤石な地域コミュニティをどのように構築・強化していくかを重点において要望をまとめたほか、東日本大震災以降、充実しつつある防災の分野についても、女性の視点、障がいをお持ちの方をはじめとする生活弱者の視点を交え、より具体的な要望を行いました。

今後は、要望した全ての項目について、一日でも早く実現されるよう、議会質問を中心に行政に働きかけてまいります。

福祉施設にタオルを贈呈



地域のボランティアグループをお手伝いし、今年も、家庭で不要となった布や新聞で作ったゴミ箱を集め、社会福祉法人和光会にお届けさせていただきました。

これは、ボランティアグループ「ふきのとう」が年2回行っているもので、施設ではちょっとした掃除などで、使い捨てができる布などが重宝されていることから、メンバーが不要となったタオルや下着などを洗ってとっておき、この機会にお届けをしているもの。ご協力いただいた皆様、ありがとうございました。



県議会予定候補者の澄川さんと、街頭演説も実施中！！